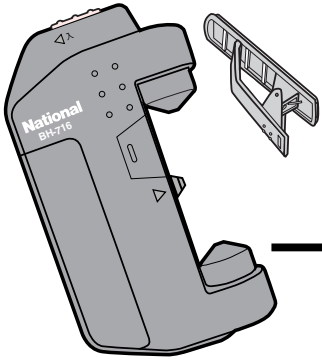


National

取扱説明書

乾電池式 ライン結び器

品番 **BH-716**

〈乾電池単4形 2コ用〉

■この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。**特に「安全上のご注意」(19～20ページ)は、ご使用前に必ずお読みいただき安全にお使いください。**

お読みになったあとは、大切に保管し、必要なときにお読みください。

釣り専用

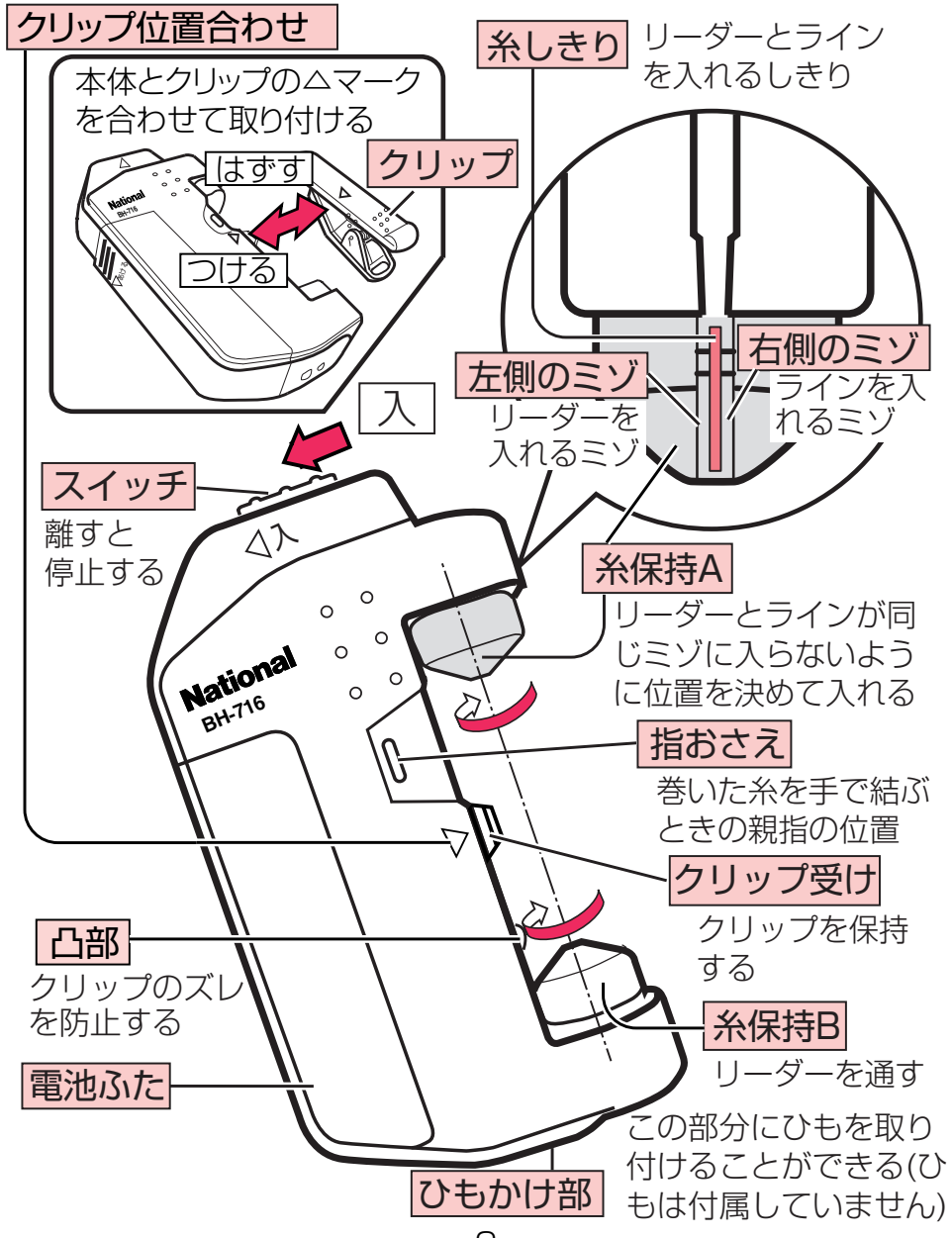
上手に使って上手に節約

もくじ

- ●各部のなまえ …… 2
- ●内容物/使用上のお願い …… 3
- ●仕様 …… 4
- ●準備 …… 5
- ●使いかた …… 6
- ●上手な使いかた …… 18
- ●安全上のご注意 (必ずお守りください) …… 19
- ●故障かな！？ …… 21
- ●アフターサービス …… 裏表紙

Printed in China BMF6CA103AYA D1203K2035

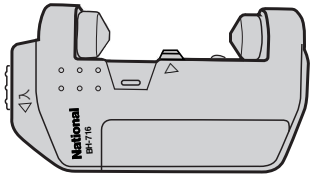
各部のなまえ



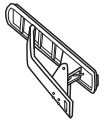
内容物/使用上のお願い

ご使用前に下記内容物の確認をしてください。

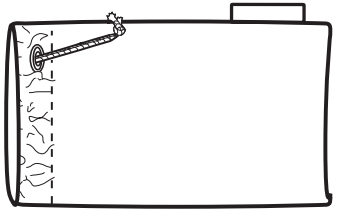
●本体 1コ



●クリップ 1コ



●ソフトケース 1コ



使いかたを誤りますと、機器が故障する原因となります。

- ●釣り以外の目的に使用しないでください。
- ●説明書以外の結びかたをしないでください。
  強度低下の恐れがあります。また説明書通りに結んでも巻きつけかたや締めかたにより、糸の強度が変わることがあります。
- ●本体を雨や水しぶき、海水等でぬらさないでください。
- ●落としたり、強い衝撃を与えないでください。
- ●長時間直射日光に当てたり、熱気の近くに置かないでください。
- ●汚れは水または薄めた台所用洗剤（中性）を布に含ませてふき取ってください。
  （ベンジン、アルコール、シンナー等の溶剤は使用しないでください。）

仕　様

■適合糸　※lb値はメーカー、材質等の条件により変化します。

ライン	ポリエチレン糸(ＰＥライン) 0.6～　3号
リーダー	ナイロン糸、フロロカーボン糸 1.5～12号(6 lb～40 lb)

■糸組み合わせ(例)

	ライン	リーダー
ジギング	3　号	8　号
	3　号	12　号
エギング	0.8　号	1.75号
	0.8　号	2　号
シーバス	1.5　号	5　号
投げ釣り	0.8　号	8　号

使用電池	乾電池単4形 2コ〈別売〉	
電池寿命 (20 ℃時)	パナソニックアルカリ乾電池使用時	ナショナルネオ《黒》乾電池使用時
	約 500 本	約 150 本
	1.5号PEラインを 5号ナイロンリーダーに40 回巻きつけたときの本数	
外形寸法	約 幅65 mm×高さ115 mm×奥行28 mm	
質　　量	約110 g（クリップ、パナソニックアルカリ乾電池含む）	

準備

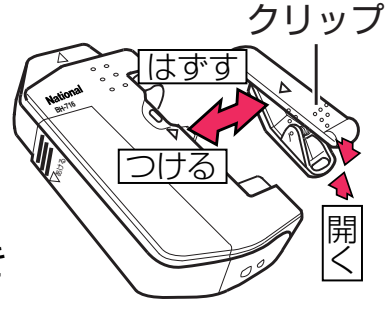
1.クリップをはずす

はずしかた

●クリップを少し開きながらはずす

取付けかた

●本体とクリップの△マークを合わせて、クリップを少し開きながら取付ける

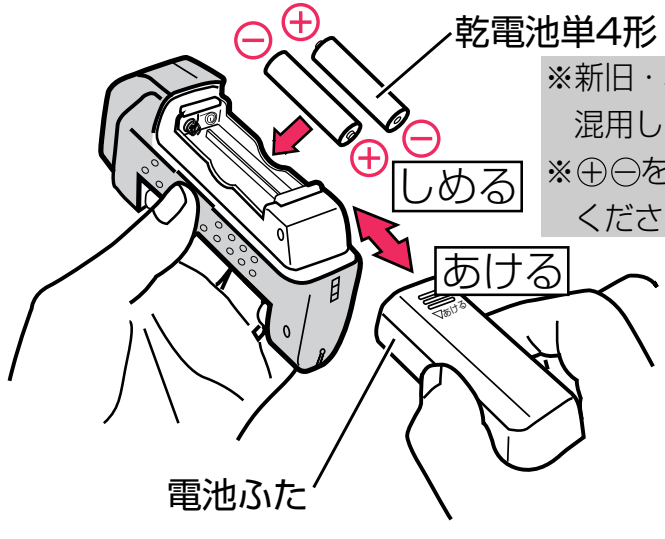


2.電池を入れる

❶ 電池ふたを矢印方向に引いてあけ、電池を入れる

❷ 電池ふたをしめる

●電池ふたをスライドさせて確実にしめる



※新旧・異種の電池を混用しないでください。

※⊕⊖を逆に入れないでください。

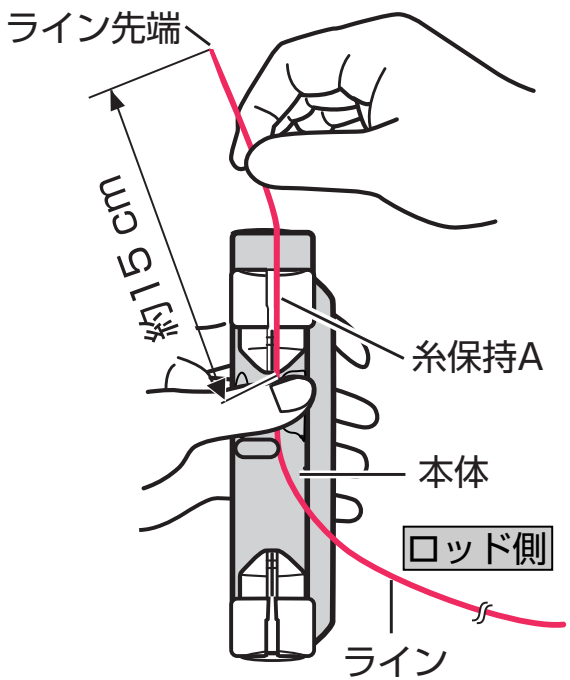
使いかた

1. ライン と リーダー をセットする

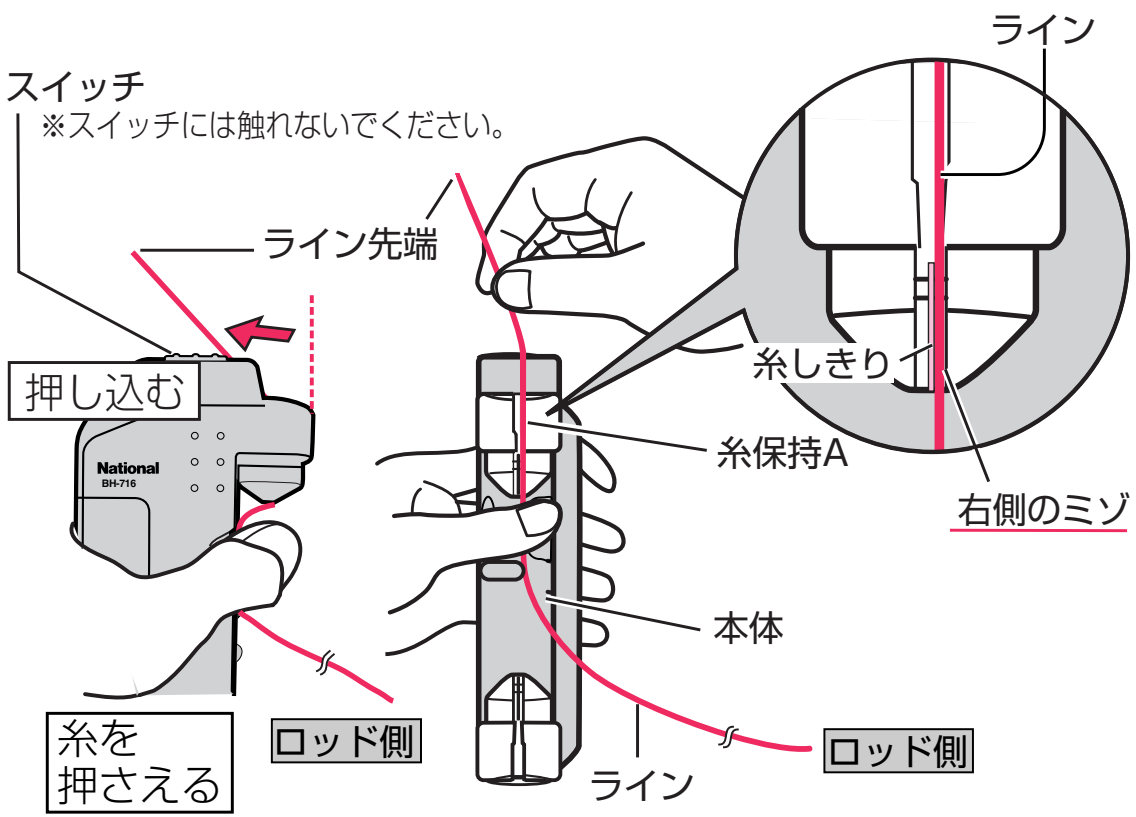
① ライン を 糸保持A の右側のミゾへはめる

1 ライン先端 から約15 cmの位置を左親指でおさえる

2 右指で ライン を張りながら 糸保持A 右側のミゾに入れ奥まで押し込み ライン をはさむ



ロッドにリールをセットしているとき、ラインは竿先から余裕をもって出しておいてください。

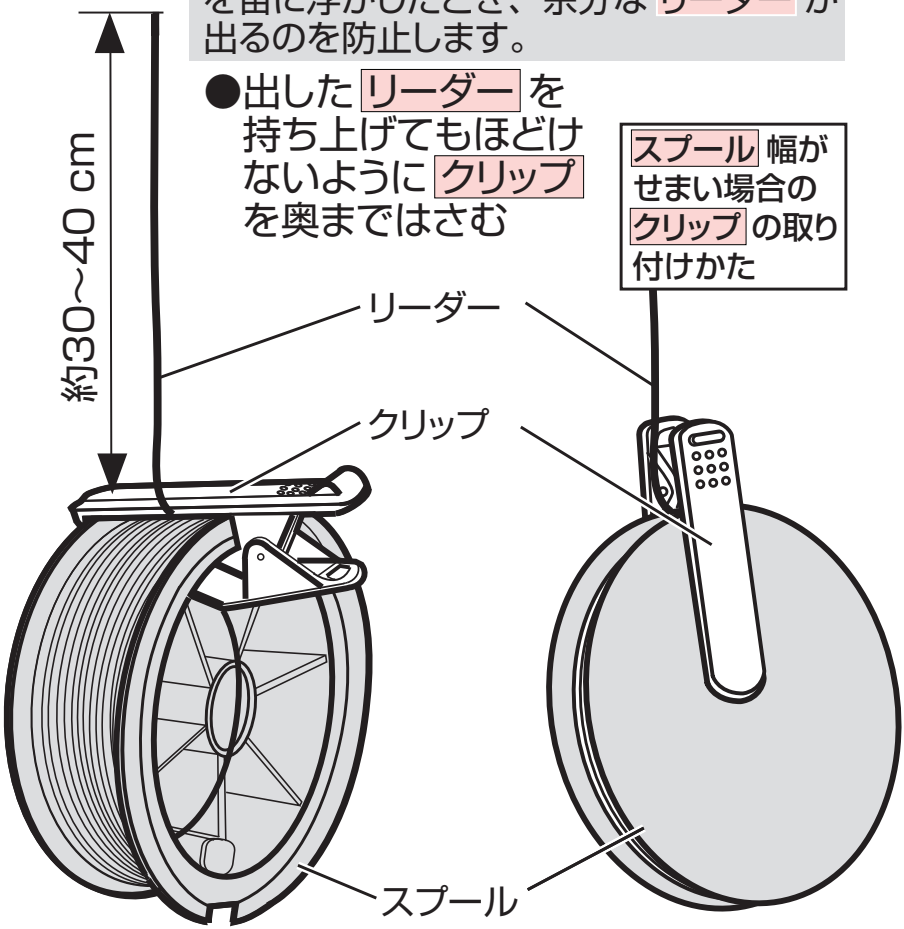


❷ リーダー を スプール から約30～40 cm 出し スプール を クリップ ではさむ

クリップ をすると後の工程で スプール を宙に浮かしたとき、余分な リーダー が出るのを防止します。

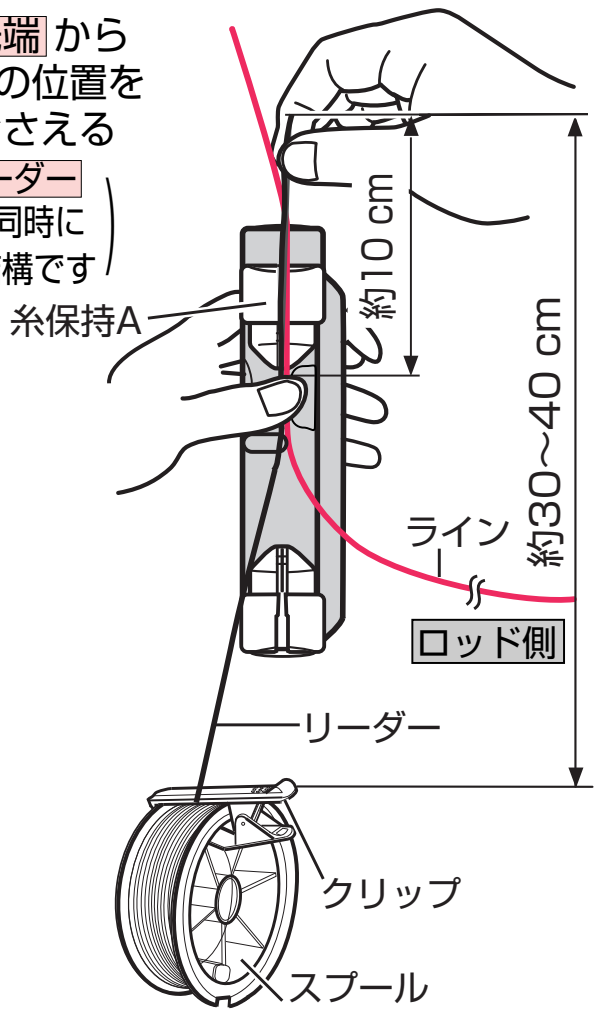
●出した リーダー を持ち上げてもほどけないように クリップ を奥まではさむ

スプール 幅がせまい場合の クリップ の取り付けかた

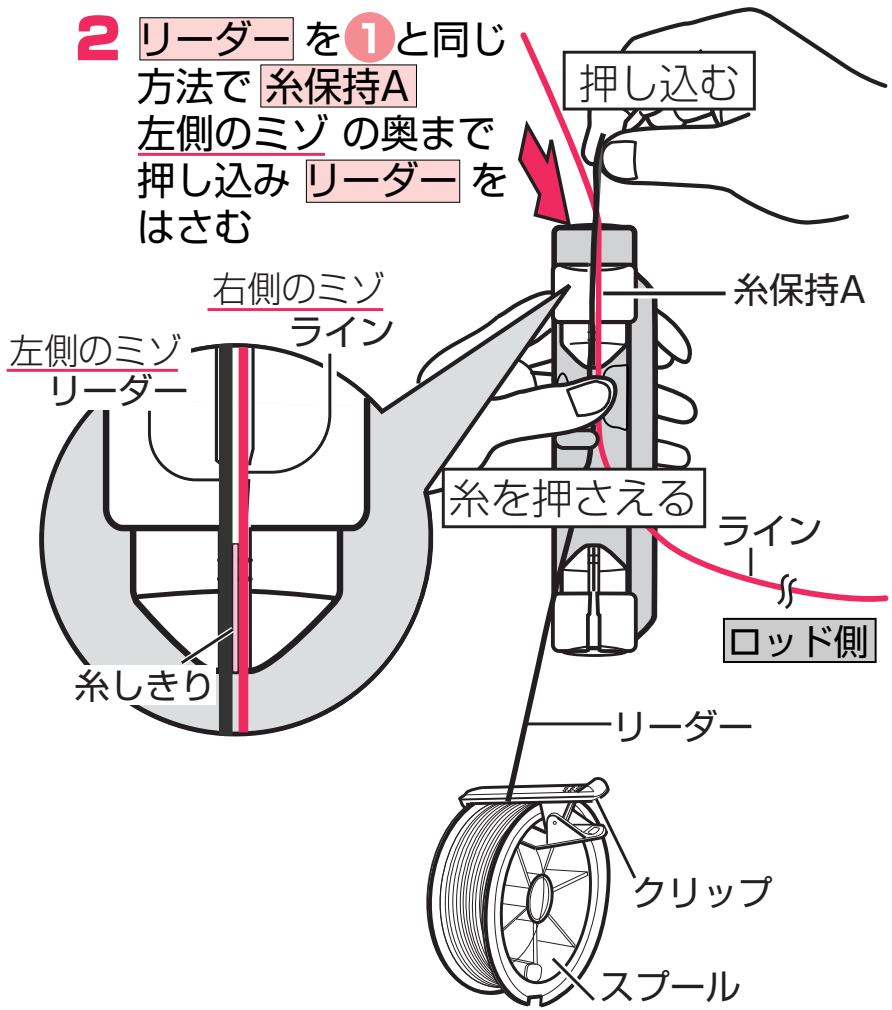


❸ リーダー を 糸保持A の左側のミゾにはめる

1 リーダー先端 から
約10 cmの位置を
左親指でおさえる
（このとき リーダー と ライン を同時に おさえても結構です）

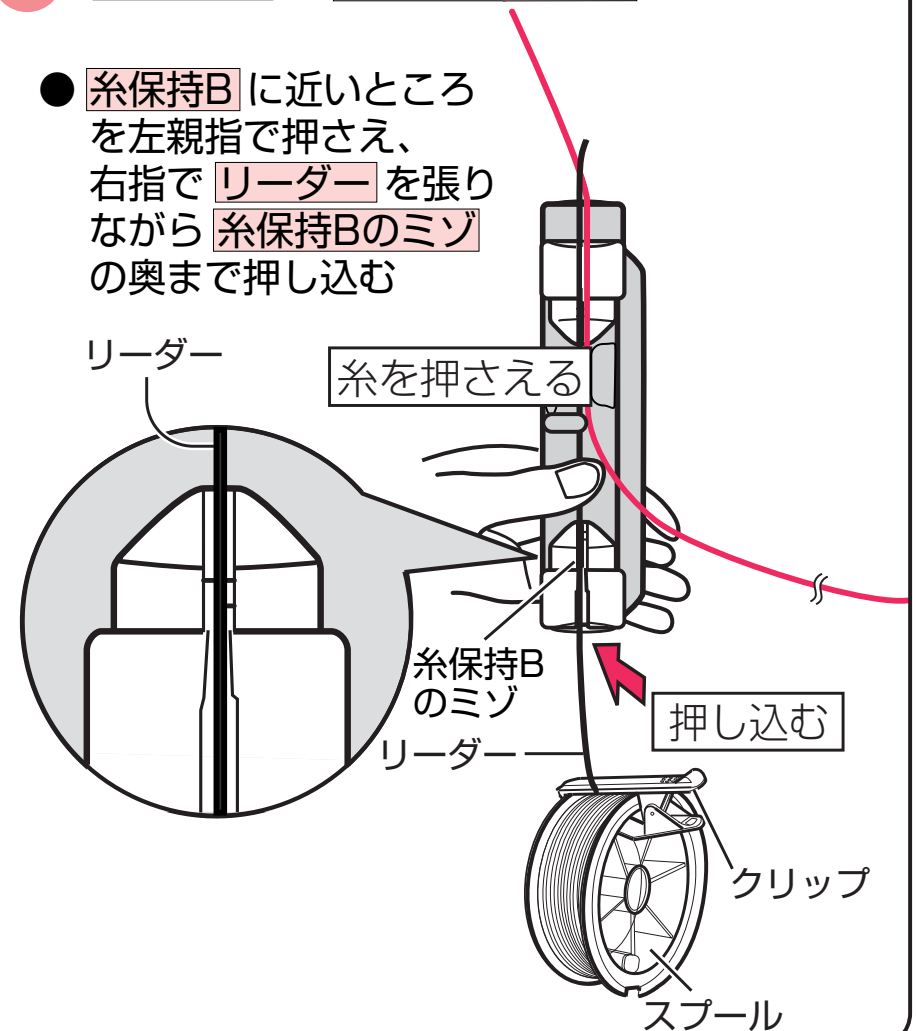


2 リーダー を ❶ と同じ
方法で 糸保持A
左側のミゾ の奥まで
押し込み リーダー を
はさむ



④ リーダー を 糸保持Bのミゾ にはめる

● 糸保持B に近いところを左親指で押さえ、右指で リーダー を張りながら 糸保持Bのミゾ の奥まで押し込む



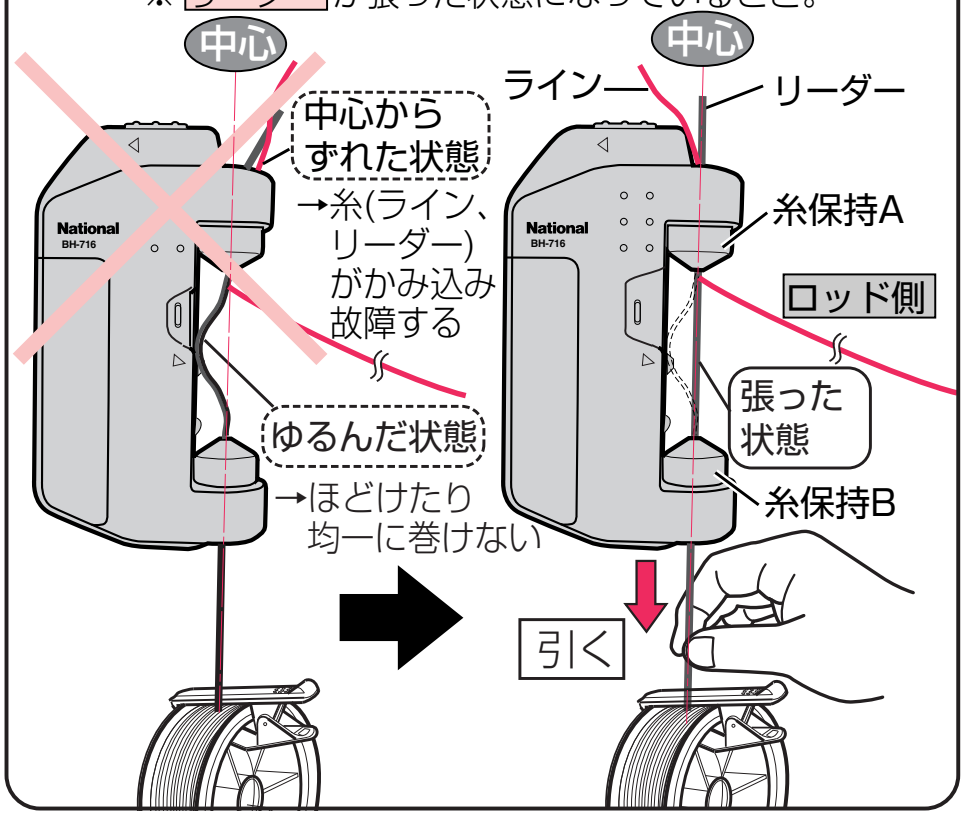
⑤ スプール側 の リーダー を引き 糸保持A、B 間の リーダー を張った状態にする

＜下記の確認をしてください＞

※ ライン が 糸保持A の中心に保持されていること。

※ リーダー が 糸保持A、糸保持B の中心に保持されていること。

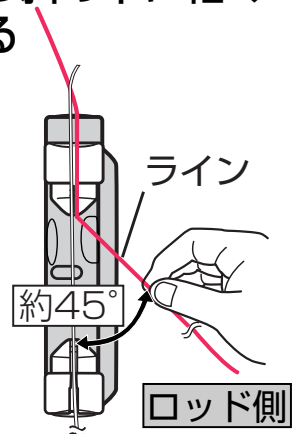
※ リーダー が張った状態になっていること。

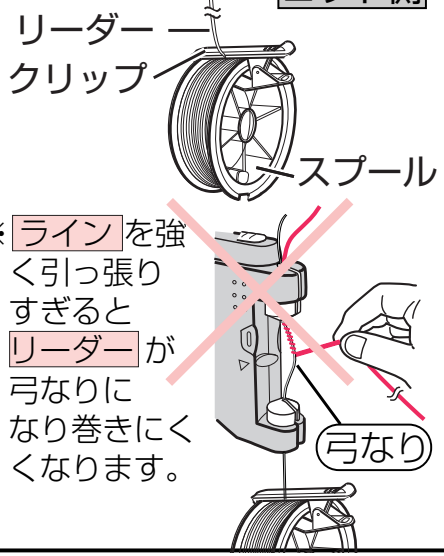


使いかた(ここからはリーダーのイラストを白抜き表示しています)

2.スイッチ を入れてリーダー にラインを巻く

① スプール を宙に浮かせ ライン を後ろ斜め下に軽く張る

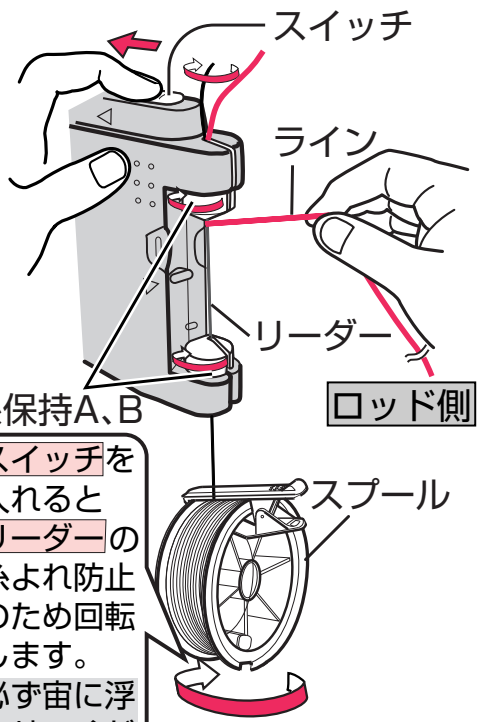




※ ライン を強く引っ張りすぎると リーダー が弓なりになり巻きにくくなります。

② スイッチ を入れる

●引き続けると 糸保持A、B が連続回転し、離すと停止する

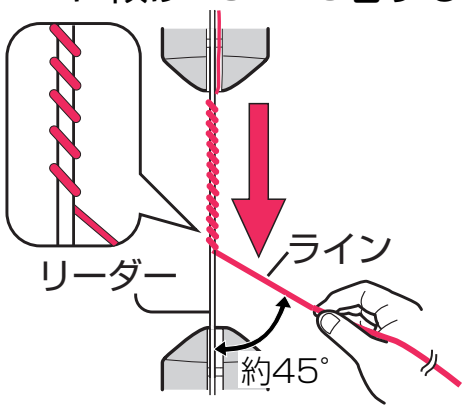


スイッチ を入れると リーダー の糸よれ防止のため回転します。
必ず宙に浮かせてください。

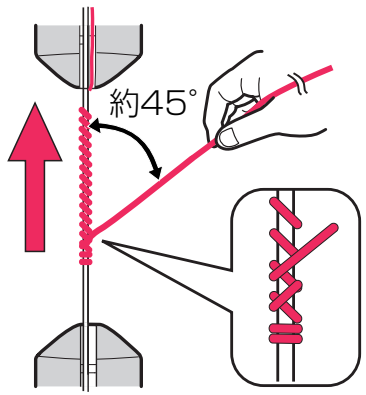
※モータ音がしているのに回転しない場合は スイッチ をもう一度入れてください。

③ 下記の順序で ライン を巻く

1 ライン を後ろ斜め下に傾け15～20巻する

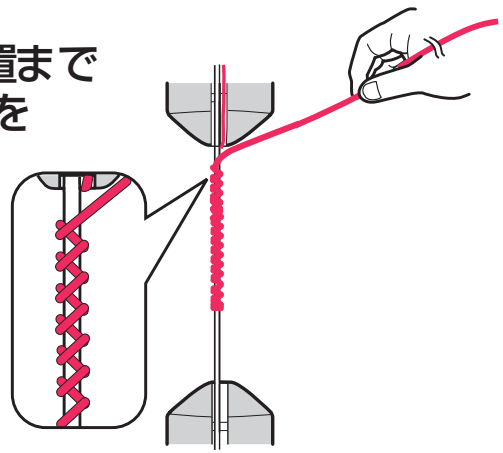


2 下部にきたらラインを右上に折り返す

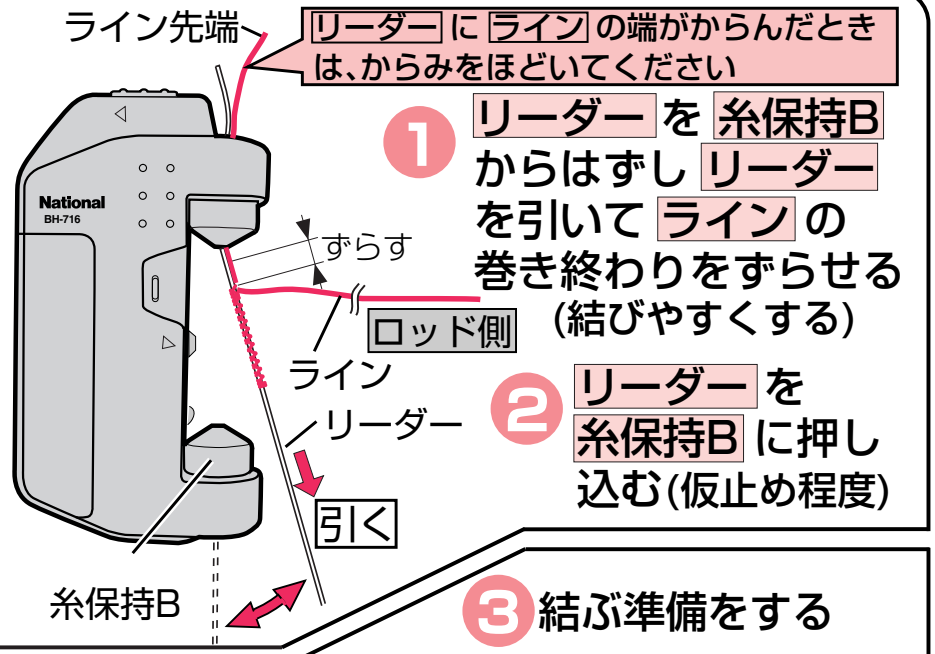


※巻きつけ回数は糸の太さやメーカーにより異なりますので調整してください。

④ 巻きはじめの位置まできたら スイッチ を停止する



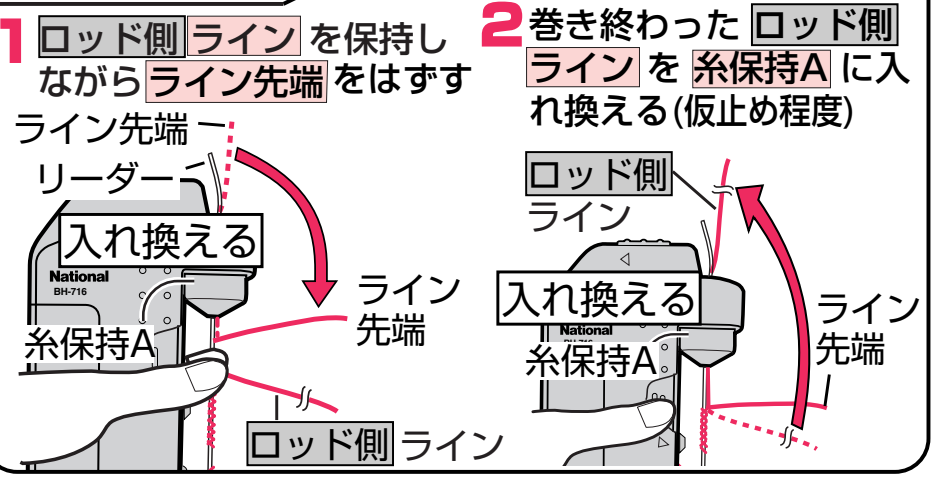
3.巻き終った ライン を手で結ぶ



1 リーダー を 糸保持B からはずし リーダー を引いて ライン の巻き終わりをずらせる (結びやすくする)

2 リーダー を 糸保持B に押し込む(仮止め程度)

3 結ぶ準備をする

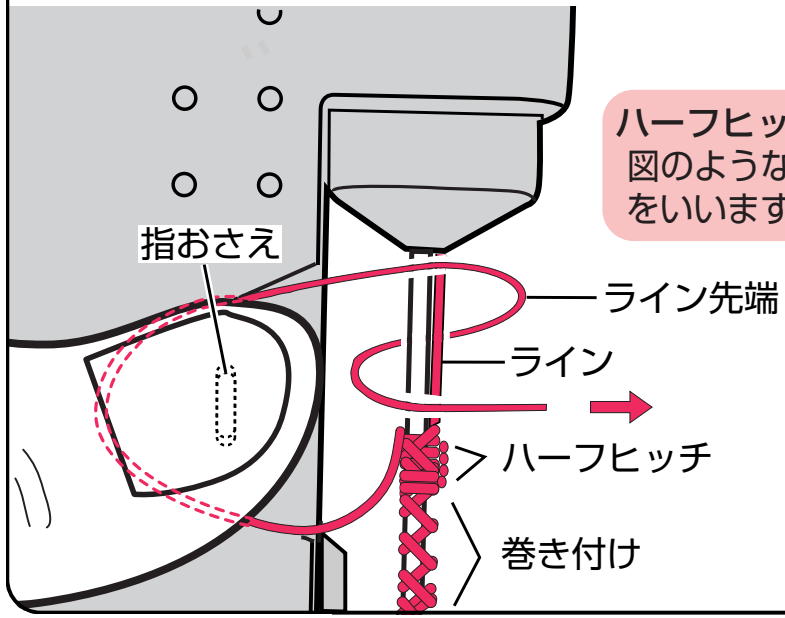


1 ロッド側 ライン を保持しながら ライン先端 をはずす

2 巻き終わった ロッド側 ライン を 糸保持A に入れ換える(仮止め程度)

4 ライン先端 を 指おさえ 側に回し左親指で押えながら図のように※ハーフヒッチ で リーダー と ライン を結ぶ

5 上記 4 の結びを5~7 回繰り返す



ハーフヒッチとは図のような締めかたをいいます。

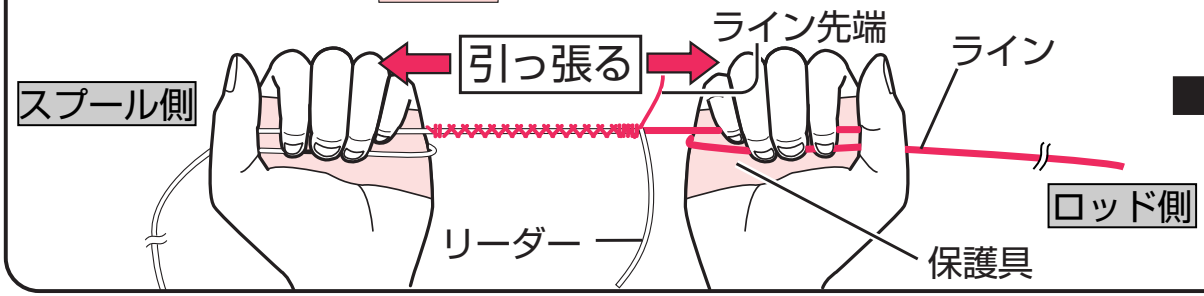
6 糸保持A,B から リーダー と ライン を取り出す

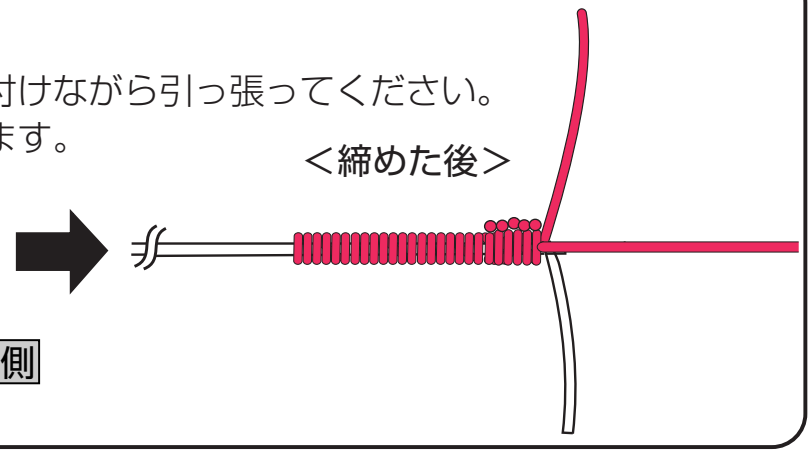
使いかた/上手な使いかた

4.仕上げる

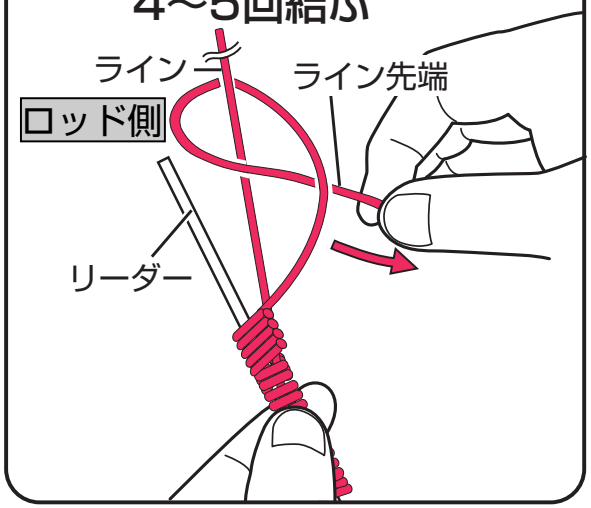
❶ リーダー と ライン を強く引っ張り締める

※安全に強く引っ張るには、両手に 保護具 をして糸を手に巻き付けながら引っ張ってください。
ただし、細い ライン を強く引っ張りすぎると伸びて弱くなります。

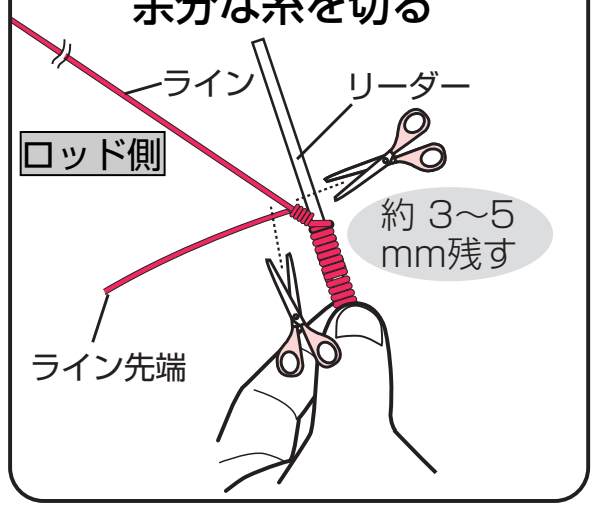




❷ ライン に ライン先端 をハーフヒッチで4~5回結ぶ

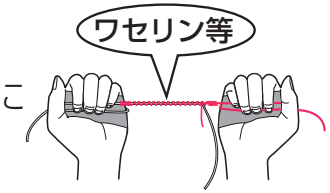


❸ ライン先端 側の端部と リーダー 端部の余分な糸を切る



上手な使いかた

- ハーフヒッチを左右(上下)交互に結ぶとさらに、ほどけにくくなります
- 締め付け時、糸が均一に締まるように潤滑剤を塗る



- リーダー や ライン の端を火であぶり抜けや 糸のほつれを防止する

※ヤケドをしたり、不要な部分をあぶらないように注意してください。

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し説明しています。

⚠	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
❗	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

⚠ 電池の液が目に入ったときは、失明や目の障害の恐れがあるので、こすらずに水道水などの多量のきれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受ける

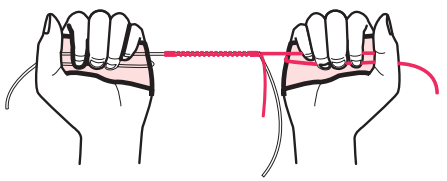
⚠ 注意

■電池の使用表示に従う

■定期的に点検する（作動・液もれ）

❗ 守らないと電池の液もれ・発熱・破裂の原因となります。

■ラインを強く引っ張る場合は手袋等の保護具を使用する

❗ 

守らないと手指をケガする原因となります。

■電池は乳幼児の手の届かないところに置く

❗ 誤って飲め込むと胃を痛める原因となります。

●万一飲み込んだ場合には直ちに医師に相談してください。

故障かな!?

症　状	原　因・処　置
スイッチを入れても作動しない	●電池の方向が間違っている。 →⊕⊖の方向を正しく入れる。 ●塩や砂、異物等が入っている。 →異物を取り除く。
	●電池が消耗している。 →新しい電池に取り替える。
回転の途中で停止する	●糸が絡まっている。 →糸を取り除く。
回転の途中でラインがゆるむ	●ラインがゆるんだ状態で回転させたため。 →ラインを軽く引っ張りながら回転させる。
回転の途中でリーダーがよれる	●リーダーが回転できない状態になっている。 →スプール側のリーダー(スプール)を宙に浮かせる。 ●リーダーがきっちりセットできていない。 →糸保持A,Bのミゾの奥まで押してセットする。
ラインの保持力が弱い	●リーダーとラインが糸保持Aの同一ミゾにセットされている。 →リーダーを左側、ラインを右側にはめる。

アフターサービス

●当社は、この乾電池式ライン結び器の補修用性能部品を、製造打ち切り後5年保有しております。
注)補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●アフターサービスについておわかりにならないときは、お買い上げの販売店または、下記の「連絡先」までお問い合わせください。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

松下電器産業株式会社および松下グループ関係会社（以下「当社」）は、お客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報（以下「個人情報」）を、下記のとおり、お取り扱いします。

1.当社は、お客様の個人情報を、ナショナル パナソニック製品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
なお、修理やその確認業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。

2.当社は、お客様の個人情報を、適切に管理します。

3.お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

松下電器産業株式会社
松下電池工業株式会社
〒570-8511　大阪府守口市松下町1番1号
電話 (06)6991-1141　FAX(06)6991-1745